

大阪市ヒートアイランド対策 推進計画

平成 23 年 3 月（改訂）

大阪市

大阪市ヒートアイランド対策推進計画

目 次

| | | |
|-----|------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 大阪市におけるヒートアイランドの現状 | 2 |
| 2.1 | ヒートアイランド現象とは | 2 |
| 2.2 | ヒートアイランドの現状 | 3 |
| (1) | 8月の平均気温の推移 | 3 |
| (2) | 1月の平均気温の推移 | 4 |
| (3) | 年間の平均気温の推移 | 5 |
| (4) | 日最低気温が25℃以上(熱帯夜)の日数の推移 | 6 |
| 2.3 | ヒートアイランド現象の原因 | 7 |
| (1) | 人工排熱の増加 | 8 |
| (2) | 地表面被覆の人工化 | 9 |
| (3) | 緑地等の分布変化 | 11 |
| (4) | 風通しの悪化 | 11 |
| (5) | 地球温暖化の影響 | 12 |
| 2.4 | ヒートアイランド現象による影響 | 14 |
| (1) | 真夏日・熱帯夜日数が人の健康に与える影響 | 14 |
| (2) | エネルギー消費への影響 | 15 |
| (3) | 短時間強雨発生回数の長期変化 | 15 |
| (4) | 生態系への影響 | 16 |
| (5) | 大気環境への影響 | 17 |
| 3 | これまでの対策の成果と今後取組むべき課題 | 18 |
| 3.1 | 計画の進捗状況 | 18 |
| 3.2 | これまでの対策の進捗状況 | 19 |
| 3.3 | 今後取組むべき課題 | 23 |
| (1) | 市民・事業者等との協働による取組の強化 | 23 |
| (2) | 風に配慮したまちづくり | 23 |
| (3) | 計画の新たな評価指標の必要性 | 24 |
| 4 | 計画の基本的な考え方 | 25 |
| 4.1 | 計画の基本方向 | 25 |
| 4.2 | 計画の目標 | 25 |

| | | |
|-----|-------------------|----|
| 5 | 大阪市におけるヒートアイランド対策 | 26 |
| 5.1 | 対策の基本的考え方 | 26 |
| (1) | 対策の基本的考え方 | 26 |
| (2) | 関連諸施策との連携 | 27 |
| (3) | 空間スケールに合わせた対策の推進 | 27 |
| (4) | 最新の研究成果を反映した施策の推進 | 27 |
| 5.2 | 当面の重点的な取組み | 28 |
| (1) | 人工排熱の低減 | 28 |
| (2) | 道路や建物等からの放熱の抑制 | 29 |
| (3) | 緑化の推進 | 30 |
| (4) | 水の活用 | 31 |
| (5) | 風の利活用 | 31 |
| (6) | 市民、事業者、NPO等との協働 | 31 |
| 6 | 計画の推進 | 33 |
| 6.1 | 計画の推進体制と進行管理 | 33 |
| 6.2 | 調査・研究 | 33 |
| (1) | モニタリング | 33 |
| (2) | 調査研究 | 33 |

1 はじめに

近年、都市部では、地球規模の環境問題である温暖化に加えてヒートアイランド現象が進行しており、特に夏季においては、冷房負荷の増大によるエネルギー消費量の増大、寝苦しい熱帯夜の増加、熱中症発症者数の増加など、市民の快適な生活環境が著しく損なわれています。

大阪市域においても夏の暑さが一段と厳しくなり、本市が平成21年度に実施した世論調査においても、「熱帯夜が続き、夜中に寝苦しい」「真夏日が続き、日中に出歩きにくい」と答えた人が、それぞれ全体の半数以上を占めており、全市的かつ緊急に対策を講じなければならない都市課題となっています。

ヒートアイランド現象は、建物空調や自動車の走行などに伴う人工排熱の増加とともに、都市の近代化の過程で、水面や緑などの自然に代わり、コンクリートやアスファルトなどの人工物で街を覆いながら、長期にわたって開発してきたことが要因の一つであることから、その緩和策が効果を発揮するまで、多様な対策を長期的に確実に実施する必要があります。

こうしたことから、大阪市では、平成17年度にヒートアイランド対策の目標を設定するとともに、総合的かつ効果的に施策を推進するための方向性を示した「大阪市ヒートアイランド対策推進計画」を「大阪市環境基本計画」の分野計画として策定し、人工排熱の低減や建築物の敷地内・屋上の緑化、小学校の校庭の芝生化、公園等の整備や街路などでの緑陰の確保、路面温度の上昇を抑える道路の保水性舗装などを進めてきました。

また、平成23年3月には、涼しい海風を活用したまちづくりの指針として「『風の道』ビジョン〔基本方針〕」をとりまとめたところです。

本計画の策定から5年を経て、今後の本市のヒートアイランド対策を更に効果的に推進していくため、今般、これまでの施策の成果を点検するとともに、「『風の道』ビジョン〔基本方針〕」に基づく施策など今後新たに取り組むべき施策を盛り込むべく中間見直しを行うものです。

